# 農作業事故を防ごう！

## 事故から身を守る安全対策

農作業中の死亡事故件数は、毎年約４００件以上に上ります。中でも農業機械作業にかかわる事故が最も多く、全体の約7割を占めています。

作業効率や利便性の高い農業機械は、今や農業に欠かせません。農作業事故の実態と安全対策を確認し、事故を未然に防ぎましょう。

### 多発する農業機械事故

農林水産省が発表した「平成22年に発生した農作業死亡事故の概要」によると、２０１０年の農作業中の死亡事故件数は３９８件。そのうち農業機械は使った作業による事故が２７８件で、全体の70％を占めています。機種別では、乗用型トラクターの転落や転倒による死亡事故が１１４件で最も多く、次いで歩行型トラクターが50件、農耕用運搬車が46件となっています。

一方、農業機械による傷害事故の原因について、農林水産省発表の『農業機械傷害事故調査結果』（03年発表）によると、刃部等が31％、挟まれや巻き込まれが26％、死亡事故で最も多かった機械の転落や転倒によるけがは12％となっています。機種別では、動力刈払機（草刈機）の19％がトップで、部位別では、手に関する部分が48％を占めています。

### 事故を防ぐ４つの心掛け

農業機械の使用日に起こる事故は、ちょっとした気の緩みや不注意、誤った使い方をした場合などに多く発生します。ここでは、事故を効果的に防ぐための４つの心掛けを紹介します。

#### ①取扱説明書をよく読む

農業機械の中には、年に数回しか使わないものがあります。毎年使い方を忘れてしまい、操作方法をなんとなく思い出しながら使っている人も多いのではないでしょうか。操作方法をしっかりと思い出すシーズン初めに取扱説明書を読み直し、正しい操作を確認しましょう。

#### ②点検整備をしっかりと

始業点検を必ず行いましょう。各種装置が正常に作業するか確認し、ネジの緩みやランプ切れなどがないようにします。使用後は掃除をして、違和感がある部分や消耗品は交換し、安全に動くかチェックしましょう。

#### ③正しい操作をする

経験が豊富な人ほど、安全に対して関心が薄れていることがあります。急発進、急停車はもちろん、無理な運転をしないようにします。点検や調整は、必ずエンジンを止めて行います。

#### ④危険を予測する

疲労には肉体だけでなく、精神的な疲労もあります。精神的に疲れると、頭の中で作業とは別のことを考えてしまいがちです。特に作業が終盤になると帰宅後のことを考えたり、集中力を欠く状態になりがちです。そんなときに事故を起こす傾向があります。最後の作業まで緊張感を保つことで、危険の芽を摘むことができるのです。

## 傾斜地の作業に注意

りんごの収穫時は、梯子を使うことが多いです。２ｍほどの高さでも、転落すると死亡事故につながることがあるので注意が必要です。

転倒する恐れがある梯子の一番上に上がらないようにし、風が強い日は特に注意して作業してください。

## コンバインの使用時の注意

コンバインによる事故は、詰まった稲を除去しているときに最も多く発生しています。ほとんどの事故はエンジンを切らないまま機械に手を入れることで起きています。機械に異常が発生しているときは、必ずエンジンを切りましょう。

稲を詰まらせないようにすることも対策の一つです。刈った稲を搬送する機械部分のチェーンが緩んでいると詰まりやすくなるため、こまめに点検が大切です。

次に多いのが手刈りした稲を機械に手を入れる「手こぎ作業」での事故です。手こぎで稲を入れる部分は、大型のコンバインで１．５ｍほどの高さにあります。背が低い女性や高齢者の場合は目の位置より高くなることがあり、よく場所を確認できずに稲を入れることになります。

そんなときは、稲を入れる部分がよく見えるように工夫しましょう。まず、少し高い畦に手刈りした稲を集めます。次に畦に立って視界を十分に確保し、高い位置からコンバインを見下ろすようにして稲を入れましょう。

## 草刈機の安全な使用法

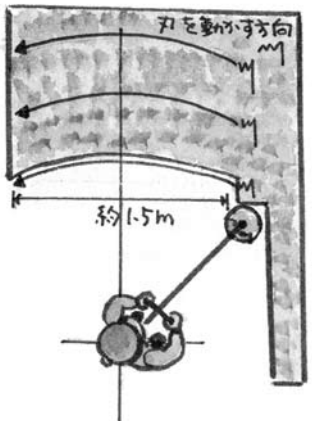
いつも使用している草刈機。慣れているからこそ、油断して事故につながります。その草刈機による作業中の事故で最も多いのが転倒や滑落が最も多く、次に欠けた刃先や小石などの飛散物による負傷などがあります。

そこで、草刈機による事故を防止しながら作業効率を上げるため、次の５つを徹底しましょう。

①防護メガネや耳栓、防振手袋、作業靴などの防護具を着用する。

②刈り取る対象物には、刃の前方左側１／３程度を当てる

③刈り幅は１．５メートル程度にする




④傾斜地では水平方向にすすみながら作業をする。滑落の危険があるため、決して下方には進まない

⑤点検・修理を行う場合は必ずエンジンを止める

草刈機の長時間使用とフル回転使用を繰り返すと※「振動傷害」を引き起こす危険があります！

※振動傷害とは

草刈機やチェーンソーなど、振動を手・腕に伝える手持ち式の機械や工具を使用することによって起こる健康障害。手指のしびれから始まり、腕のだるさや脱力感などがあり、作業後や夜間、寒冷時には腕の強いしびれと痛みが起こることがあります。